会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称
第1回美里町障害者計画等策定委員会
- 2 開催日時 令和5年7月26日（水）午後2時17分から午後3時10分まで
- 3 開催場所 美里町健康福祉センターさるびあ館 1階大広間
- 4 会議に出席した者
 - (1) 委員
小野 俊次 会長、木村 明子 副会長、石川 芳民 委員
須田 明美 委員、伊藤 光也 委員、阿部 律子 委員
 - (2) 事務局（健康福祉課）
渡辺 克也 課長、相澤 環 課長補佐、藤崎 浩司 主幹兼障害福祉係長、
望月 晶 技師
 - (3) その他
株式会社ぎょうせい 阿部 務 主任研究員
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別
議題
 - (1) 美里町障害福祉計画等の策定方針について
 - (2) 美里町障害者計画等に関するアンケート調査の実施について会議の公開・非公開の別
 - ・公開
- 6 傍聴人の人数
 - ・0人
- 7 会議資料
 - ・資料① 美里町第4期障害者計画・第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画策定方針
 - ・資料② アンケート調査の実施について

8 会議の概要

○事務局（渡辺課長） それでは、令和5年度第1回美里町障害者計画等策定委員会を開会させていただきます。

会議の開会に当たりまして、委員の皆様方をご紹介します。

本日お配りしております委員名簿を読み上げる形での紹介に代えさせていただきます。恐縮でございますが、所属機関名等については省略をさせていただきますので、名簿でのご確認をお願いしたいと思います。

小野俊次委員でございます。

○小野委員 よろしくお願ひします。

○事務局（渡辺課長） 木村明子委員でございます。

○木村委員 よろしくお願ひいたします。

○事務局（渡辺課長） 石川芳民委員でございます。

○石川委員 よろしくお願ひします。

○事務局（渡辺課長） 伊藤公善委員につきましては、本日ご都合により欠席でございます。同じく、近藤等委員につきましても欠席でございます。

須田明美委員でございます。

○須田委員 よろしくお願ひします。

○事務局（渡辺課長） 伊藤光也委員でございます。

○伊藤委員 よろしくお願ひいたします。

○事務局（渡辺課長） 阿部律子委員でございます。

○阿部委員 よろしくお願ひします。

○事務局（渡辺課長） 続きまして、本日出席しております事務局の職員を紹介させていただきます。

健康福祉課課長補佐の相澤環でございます。

○事務局（相澤課長補佐） 相澤です。よろしくお願ひいたします。

○事務局（渡辺課長） 同じく、健康福祉課主幹兼障害福祉係長の藤崎浩司でございます。

○事務局（藤崎主幹兼障害福祉係長） 藤崎です。よろしくお願ひします。

○事務局（渡辺課長） 同じく、健康福祉課技師の望月晶でございます。

○事務局（望月技師） 望月です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○事務局（渡辺課長） 今回策定を進めてまいります第4期障害者計画・第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画におきましては、本日議事でご説明いたしますアンケート調査等の実施に伴います集計及び分析作業、それから計画策定におけます各データや課題の分析、法令改正の作業等の分野におきまして、株式会社ぎょうせい様にご協力をいただくことにしております。

本日、担当者の出席をいただいておりますので、ご紹介させていただきます。

株式会社ぎょうせい 阿部務主任研究員でございます。

○(株)ぎょうせい(阿部主任研究員) 株式会社ぎょうせいの阿部でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○事務局(渡辺課長) 阿部主任研究員につきましては、今後開催してまいります策定委員会におきましても同席をいただきまして、必要に応じて委員の皆様方にご説明をさせていただく場面もあるかと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

本日でございますが、先ほど申し上げましたとおり、伊藤委員と近藤委員につきましては、欠席ということでご連絡を頂戴していることを改めて報告をさせていただきます。

美里町障害者計画等策定委員会条例第6条第2項の規定により、委員の半数以上の出席が必要となっておりますけれども、本日過半数の委員のご出席を頂戴しておりますので、会議開催の要件を満たしておりますことをご報告させていただきます。

それでは、次第をご覧ください。

2の会長及び副会長の選出でございます。

美里町障害者計画等策定委員会条例第5条第1項におきまして、会長及び副会長は委員の互選によって定めると規定してございます。互選により選出いただくこととなりますけれども、選出方法につきましてはいかがいたしますか。

○伊藤委員 事務局案があるのであれば、お願ひいたします。

○事務局(渡辺課長) ただいま伊藤委員から、事務局案ということでお話がございましたけれども、委員の皆様、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○事務局(渡辺課長) では、提案をさせていただきます。事務局、お願ひします。

○事務局(相澤課長補佐) それでは、事務局から提案をさせていただきます。

会長に小野俊次委員、副会長に木村明子委員を推薦させていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

○事務局(渡辺課長) ただいま事務局のほうから、会長に小野俊次委員、副会長に木村明子委員、それぞれ提案をさせていただきました。委員の皆様、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○事務局(渡辺課長) ありがとうございます。

それでは、会長に小野俊次委員、副会長に木村明子委員、事務局からの提案のとおり決定をさせていただきます。

それでは、美里町障害者計画等策定委員会条例第6条第1項の規定により、会長が会議の議長となることを定めておりますので、小野会長を議長といたしまして会議を進めていただきます。小野会長、前の席にご移動をお願ひいたします。

ここで私の会議の進行を終わらせていただきます。ご協力いただきましてありがとうございました。それでは、小野会長、よろしくお願ひいたします。

○議長(小野会長) 皆さん、こんにちは。

私は初めてで、さっぱり分からないので、事務局といろいろ相談しながら、何とかこの策定委員会を成功させていきたいと思えます。

では、3番目の会議録署名人及び会議書記の選出に入る前に、策定委員会の運営について事務局より説明があります。よろしくお願ひします。

○事務局（相澤課長補佐） それでは、事務局から、策定委員会の運営につきまして2点ほどご説明をさせていただきます。

1点目は、この会議の公開と会議録の作成及び公表について、でございます。会議は原則として公開とします。会議録は要約筆記として発言内容等が容易に理解できるように作成し、町のホームページ等を活用して公表させていただきます。

2点目は、この会議の傍聴者の定数及び会議録の署名についてです。傍聴者の定数につきましては、町のほかの附属機関において傍聴定数を5人としている会議が多いことから、障害者計画等策定委員会におきましても、傍聴定数を5人とさせていただきます。

また、会議録の署名につきましては、会議に出席した委員の皆様の中からお二人を署名人として選出させていただきます。会議録の公開までの期間につきましては、会議終了後おおむね1か月から1か月半を想定しております。以上でございます。

○議長（小野会長） 事務局から、公開の件とホームページの件と傍聴者の件で説明がありましたけれども、何かご質問などございませんか。

（「ありません」の声あり）

○議長（小野会長） それでは、運営について事務局の説明のとおりでよろしいですか。

（「はい」の声あり）

○議長（小野会長） ありがとうございます。

それでは、続いて本日の会議録の署名人と会議書記について事務局から願ひします。

○事務局（相澤課長補佐） それでは、事務局から会議録署名人に、木村明子委員と石川芳民委員を推薦させていただきます。併せて、会議書記に健康福祉課の技師、望月晶を指名させていただきます。

○議長（小野会長） 委員の皆様、以上、会議録署名人と会議書記の選出について、よろしいでしょうか、

（「はい」の声あり）

○議長（小野会長） 木村さん、石川さん、望月さん、よろしく願ひいたします。

それでは早速、次第にあります審議に入ります。

審議事項（1）の美里町障害者計画等の策定方針について事務局より説明をお願いします。

○事務局（相澤課長補佐） では、資料①をお出しいたします。

美里町第4期障害者計画・第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画の策定方

針についてご説明させていただきます。

1 策定の趣旨につきまして。

現在、美里町では平成30年の3月に第3期美里町障害者計画、計画期間につきましては平成30年度から令和5年度まで、それから、令和3年の3月に第6期美里町障害福祉計画及び第2期美里町障害児福祉計画、計画期間はどちらも令和3年度から令和5年度まで。これらを策定して、今は計画的な障害施策の推進を図っております。

令和5年度、本年度で現行の計画期間が終了となることから、基本理念でございます「障害のある人も、ない人も 一人ひとりが輝き、ともに生きるまちづくり」を踏まえ、これまでの計画の進捗状況等を確認し、また国の指針や県の計画、6期に行われた障害者制度改革を踏まえまして、新たに美里町第4期障害者計画・第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画を策定するものいたします。

2 計画の位置づけについて、でございます。

各計画の法定上の位置づけについては次のとおりとなっております。

①の第4期美里町障害者計画については、障害者基本法第11条第3項に規定されております市町村障害者計画でありまして、障害のある人を含めた本町に暮らす住民、行政、関係団体、サービス提供事業所等が連携、協働し、活動を行うための指針となるもので、主に障害者施策の基本理念と施策の方向性を定めるものでございます。

②としまして、第7期美里町障害福祉計画。この計画は障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第88条第1項に基づいて、本町の障害のある人が自立した生活を送ることができるよう、地域生活での支援や一般就労への支援、相談支援等のサービス提供体制の確保に関する数値目標と障害福祉サービスなどの見込み量を定めるものでございます。

そして、③といたしまして、第3期美里町障害児福祉計画。この計画は児童福祉法第33条の20第1項に基づきまして、本町の障害児通所支援等の提供体制を整備し、円滑な実施を確保していくための数値目標と障害児福祉サービスなどの見込み量を定めるものでございます。

その他としましては、これらの3つの計画の策定に当たりまして、上位計画となります第2次美里町総合計画・美里町総合戦略や美里町地域福祉計画及びその他各分野別の計画と整合性を図るものとし、そのほかの計画も掲げたものを図で表したものがありますので後でご覧になってください。

続きまして、3といたしまして、計画期間についてでございます。

3つの各計画の計画期間は次のとおりとさせていただきたいと考えております。現計画と同様に、第4期美里町障害者計画は令和6年度から令和11年度までの6年間、第7期美里町障害福祉計画と第3期の障害児福祉計画につきましては、数値目標とサービス量の見込み量を定めるもののため、こちらも現計画と同様の3年としまして、令和6年度から令和8年度までと考えております。

次に、4、策定委員会で検討する内容について。

策定委員会では主に次の内容についてご検討をいただきます。①として、本町の障害者施策に関する現況についてということで、統計等の情報による障害のある方の現況やサービス等の利用状況、本町の障害者施策の取組状況について報告させていただきますので、そのことについて整理、分析し、評価していただくということです。

②障害のある人等の意識については、次にご審議いただく事項にはなるのですが、アンケート調査を行いまして、その結果をご報告いたしますので、実態の把握を行っていただき、障害者施策に反映するニーズや課題の把握を行うものです。

③計画案の内容については、国の基本指針に基づく「数値目標」及び「障害福祉サービス・障害児サービス等の見込量」について検討し、計画案を策定していくということです。

5 策定スケジュールにつきましては、次のとおりと考えております。

今回の策定委員会を含めて、今年度は年4回開催する予定でございます。第1回目は本日、策定方針やアンケート調査票のご検討をいただく。第2回は統計等の情報による障害のある方の現況やサービスの利用状況、それからアンケート調査結果の検討を考えておりまして、こちらが10月中旬頃の開催。第3回は各計画の素案の検討をいただき、これを町のパブリックコメント案としたいと思っており、これが11月中旬ぐらいの開催と考えております。そして、第4回目につきましては、第3回目でご検討いただきました内容を、パブリックコメントが12月の中旬から1月中旬を予定しておりますので、その後となる1月下旬ぐらいに計画の最終案を決定していただくというスケジュールを考えてございます。最終的には、その後、宮城県の見聞聴取や町の議会に説明をして完成ということになります。

4ページ、5ページ目につきましては、近年の町の人口や障害者手帳を所持している方の推移をお知らせしようと思ひ、資料といたしました。6 美里町の人口・世帯数・障害者、障害児の推移をご覧ください。

①といたしましては、人口と世帯数の推移です。令和元年度から4年度までの年度末の人口と世帯数の推移でございます。令和元年度以降の住民基本台帳による総人口の推移を見ますと、令和元年度から4年度までの4年間で899人減少しており、4年度の末、令和5年3月末では2万3,386人となっております。一方で、世帯数は令和元年度からの4年間で153世帯増加し、9,300世帯となっております。

次のページをご覧ください。

②は障害者手帳所持者数の推移について、前に計画を作成しました平成29年度からの推移を載せております。こちら各年度の3月末日現在の人数となります。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者の総数につきましては少しずつですが減少しておりまして、令和4年度は1,424人の方が手帳の交付を受けております。住民基本台帳の総人口に占める障害者手帳所持者の割合としましては、令和4年度末では6.1%となっております。詳細なところの数字はご覧になっていただきたいと思ひます。以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（小野会長） ありがとうございます。たくさん説明がありましたけれども、何かご意見やご質問はございますか。

○阿部委員 パブリックコメントというところをもう少し詳しくお願いします。イメージが湧かなくて。

○議長（小野会長） 策定スケジュールの中の第3回の計画のパブリックコメントの案というところについて、詳しく説明をお願いします。

○事務局（相澤課長補佐） 町でいろいろな計画を策定するときに、町民の方々にこのような計画案をつくりましたが、ご意見ありますかという形で、美里町だけでなく、市や県とかでもそのような形を取っているものがあるかと思えます。この計画でいきますと第3回目のときに、計画の素案を検討していただきますので、それを基に町民の方々に、このような案で計画を策定しましたけれどもご意見ございませんかということで皆さんにお知らせする期間があります。この計画ですと、パブリックコメントについて広報紙とホームページでお知らせをしまして、広報が周知されるのが1週間から10日ぐらいになりますから、12月10日ぐらいから令和6年の1月の十何日ぐらいの1か月間が、ご意見をいただく期間となります。

○議長（小野会長） よろしいですか。分かりましたか。

○阿部委員 ありがとうございます。

○議長（小野会長） 私たちは、5の策定スケジュールにある1回から4回までやっていかななくてはいけない。現状の障害のある人の推移とか、まとめた表などありましたけれども、それを参考にしながら進めていきたいと思えます。ほかにございませんか。なければ、このとおり進めてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○議長（小野会長） それでは、よろしくをお願いします。

次に、審議事項の（2）障害者計画等に関するアンケート調査の実施について事務局より説明願います。

○事務局（相澤課長補佐） それでは、説明させていただきます。資料②をご覧ください。

この調査につきましては、策定委員会の検討内容とか、策定スケジュールの中でも触れさせていただきましたけれども、調査対象とする方々からのご意見を伺って、計画策定に役立てる目的で実施をするものでございます。

アンケート調査の実施につきましては、1の実施方法といたしまして、調査対象者を障害者手帳保持者の方、発達障害者、発達障害児、高次脳機能障害者、難病患者の方々ということで約1,500人を考えております。調査方法につきましては郵送で行います。調査日程につきましては、今日は7月26日ですけれども、8月を考えておりまして、調査期間を約2週間として実施をしたいと考えております。

調査内容は、障害者計画を策定したときの平成29年度実施の調査項目を基礎としまして、新たな項目を追加したところもございます。追加したところに米印をつけま

した。調査内容につきましては、設問のところをご覧いただきながら、大きなところでご説明させていただきたいと思います。

1としましては、調査内容を回答する方について。まず、回答者の把握をします。

2としましては、調査対象者の方の性別や年齢、障害の状況などについての問いを行います。対象者ご本人に関する基本情報を収集するために性別や年齢、居住地域、それから障害者手帳の種類や所持の関係、発達障害・高次脳機能障害の診断や難病の認定を受けているかどうか、強度行動障害と言われたことがあるかどうかというようなことについて。医療的ケアについて、その有無とケアの種類を把握するための問い。障害支援区分の認定を受けているか、要介護認定を受けているかということで、その方の状況を把握します。

3として、日常の生活について、対象者の方が日常生活でどのくらい自立しているいろいろなことができるかということで、自立の状況を把握するための設問を設けます。

2ページ目の、4住まいや日中の暮らしについては、現在の暮らしている状況やおひとり暮らしなのか、ご家族と暮らしているのか。今後対象者の方がどのように暮らしていきたいという意向を持っているのか。日中おもにどこで過ごしているかという暮らしの状況の意向について把握をしたいと考えています。

5としまして、相談や情報提供については、対象者の方の不安の内容や相談相手、情報の入手先について把握したいことから、現在、生活の困り事や不安がありますかということや、悩んでいることの相談相手・窓口、それから、いま必要と感じる情報や、福祉サービス情報の入手先についての設問をと思っています。

6としまして、障害福祉サービスなどについて。障害福祉サービスの利用経験があるか、また利用した方については、利用するときの相談機会はどのようなものか。それから、希望に沿ったサービスを利用できたかどうか。逆に希望どおりできなかった場合はどういうときだったか。サービスを利用するときの心配や利用する前の体験機会の意向などについて、障害福祉サービス関係の状況を把握する設問にしたいと考えております。

7としまして、仕事については、就労の状況を把握するため、現在お仕事をしているか、現在の仕事の状況はどのようなものかということを知りたいと考えています。

次に、8としまして、地域防災や緊急時のことについて。災害時の避難のニーズに関する状況を把握したいと思ひまして、災害時に1人で避難できるか、また避難所で困りそうなことは何ですか。それから、家族不在などのときにご近所の支援は受けられるか。避難行動要支援者名簿の登録制度を知っているか、登録されているのかということ。

9は権利擁護・虐待防止についてということで、成年後見制度の認知、お分かりになっている方は利用意向について。日常生活自立支援事業、まもり一ぶというものについての認知度と今後の利用意向について。障害者虐待防止法の通報義務のことについて知っているかを把握するための設問をしたいと考えています。

10としまして、共生社会への理解について、共生社会の地域での浸透について、地域では理解が進んでいるのか、それから共生社会への理解に必要なことは何だと思えますかというようなことについての問い。

11につきましては、新型コロナウイルス感染症の生活への影響について。この感染症で生活への影響や、感染症流行によって困り事があったかどうかについて把握をしたいと考えている設問です。

12につきましては、障害者施策の重要度と満足度についてで、障害福祉施策について、現在の満足度と今後どのようなことが必要と重要と考えているかについてお聞きしたいため、その設問を考えています。

13につきましては、調査対象者の主に介助していただいている方に答えていただくもので、どのくらいの年齢の方がどのような形で介助しているのか、介助について身近に相談できる方はいるか、負担に思っていることはどのようなことか。

14につきましては、障害のあるお子さんとその保護者の方に、通園や通学についての困り事や利用状況、長期休暇の過ごし方、学校卒業後の将来を見越した支援や進路希望についてなどを把握したいという設問です。

そして最後に、美里町の障害福祉への意見ということで、こちらについては問というよりも、もっと自由なご意見をいただきたいということで入れたいと考えています。

このような設問で考えておりますが、委員の皆様からのご意見いただいて調整させていただき、最終的なアンケート調査票を作成してまいります。

○議長（小野会長） どうもありがとうございました。今、アンケート調査の実施について、詳しく1から述べられましたけれども、ご意見とか質問などございましたらお願いします。委員の方々、ございませんか。実際にこういうアンケートというのは、何々という文言を見ないと言えないのだけれども、内容的にはいっぱいあるけれども、どうですか。

○須田委員 10の共生社会への理解についてとあるのですが、地域における共生社会への理解とか、何か漠然としているなど、どのような共生社会を。

○議長（小野会長） 10共生社会への理解についてというのが具体的にちょっと分からないので、もう少し詳しくという話ですね。事務局お願いします。

○事務局（相澤課長補佐） 障害のあるなしに関わらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重して支え合うことを共生社会といいます。例えばあなたの地域では共生社会への理解は進んでいると思えますかということをもっと聞こうと思っています。

そして、次に共生社会への理解に必要なこととして、あなたの暮らす地域では共生社会への理解が進むためにどういうことが必要だと思えますかということで、回答は自由記載でなく、5つくらいの項目をあげて丸をつけていただいて、その他何かありますかというような形でお聞きしたいとは考えております。

○議長（小野会長） 選択肢が5つくらいあって、丸をつけていくというようなアンケートですよ。

○事務局（相澤課長補佐） 必要なことは何ですかと、皆さんに自由記載とすると、多分、書かないとか分からないになってしまうので、選択肢とその他ありますか、とすると、自分の地域では進んでいるかな、あまり進んでいないかなということや、どのようにこれからのことを考えていますかというふうに。

○須田委員 障害のあるなしに関係なく、地域で何か交流してとか、何かやっていますかとか。

○事務局（相澤課長補佐） 交流しているとか、何か活動しているとか、反対に全然分からないと言う方もいるかもしれません。その他のところに、例えば、自分の地域でこういうことをやっているなど、入れていただくようにしたいと思っています。

○須田委員 分かりました。お願いします。

○事務局（渡辺課長） 住民の皆さんがもう十分に共生社会というものを理解して、何もすることがないというのが一番ベストですけれども、多分そうじゃないだろうと考えています。では、具体的に住民の皆さんがどのように思っているかというところを、今回のアンケート調査で把握するものです。その結果に基づいた施策を今後展開していくためのアンケートにしたいという思いでございます。

○議長（小野会長） だから、恐らくこの共生社会ばかりじゃなくて、いろんなところの項目も、具体的にこうですかという選択肢があったりするようなアンケートだと思います。そのほか1から15までありますけれども、質問ございませんか。

○木村委員 5の相談・情報提供についてというところは、前回検討したと思うんですが、これは前回と大体同じ内容の設問になるということでしょうか。結局、障害を持っている方がいるのが分かっているけども、声をかけられたくない方もいらっしゃる。声をかけたいとか手助けしたいと思っている地域の方々との気持ちのギャップがあるのです。だから、そういうことに関してもう少し、何とか掘り下げた設問というか、お互いにきっかけというか、そういうのがつかめるような内容の設問を考えたいただけたらいいなというのがあるのですけれども、そこのところをちょっとお願いしたいと思います。

○議長（小野会長） 設問の内容を少し吟味してほしいなということだと思っておりますけれども。

○伊藤委員 例えば身近な相談先として民生委員という制度がありますがご存じですかという設問を入れるとか、という感じなのでしょうか。

○木村委員 多分それもなんですが、相談する相手の中に民生委員という項目も入っていたはずなのですからけれども、それで民生委員に相談しているという答えが幾らであったという回答が前回のときにありました。ただ、そういう回答はあるのですが、そこから先に進んで、あその後、声をかけてもらえたとか気軽にやり取りできるような、もう一步進んだ、せっかくアンケートをとるので、何かないかなと。

○伊藤委員 例えば民生委員さんの訪問を希望されますかとかという感じですかね。

○木村委員 この地域にこういう人がいてというような情報というか、民生委員なり

の情報もあるし、一応接触したいと思っているというところを伝えたいという思いです。

○事務局（渡辺課長） 分かりました。その部分、ちょっと掘り下げたその先のところ、民生委員さんのお立場で今後どう関わっていけるかというところを配慮した質問となるよう調整してみます。

○木村委員 掘り下げていただければ。

○事務局（渡辺課長） 分かりました。ありがとうございます。

○議長（小野会長） よろしいですか。ほかにございませんか。このアンケートは、前回も同じように調査しているわけですね。

○事務局（渡辺課長） はい、そうです。前回も同じような形でアンケート調査を実施しております。

○議長（小野会長） それでは、アンケート調査の実施については、事務局説明のとおり進めてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○議長（小野会長） ありがとうございます。それでは、このとおり一部訂正しながら進めていくこととします。今日の審議は終わりました。

次に、5 その他に入ります。委員の皆様から何かございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小野会長） ないようですから、事務局から、次回の日程などの連絡をお願いします。

○事務局（相澤課長補佐） 先ほど策定方針のところでご説明させていただきましたけれども、アンケート調査をこれから実施しまして、実施した結果、ある程度数字がまとまって、どのような状況でしたというご報告をするのにお時間をいただきたいので、次回は10月中旬頃と考えています。先のことなのですが、例えば何曜日は無理ですとか、学校の行事があるので何日はうまくないというようなことがもしありましたら、お聞きしておきたいところです。

○議長（小野会長） 委員の方々、何かありますか、この日は駄目だとか。

○事務局（相澤課長補佐） 時間は午後の、今くらいの時間でよろしいですか。

○議長（小野会長） 事務局のほうにお任せします。

○事務局（渡辺課長） なるべく早めに日程はお知らせしたいと思います。

○議長（小野会長） 事務局からその他ございませんか。

○事務局（渡辺課長） ありません。

○議長（小野会長） それでは、以上で進行を終了いたします。今日は、ご苦労さまでした。

○事務局（渡辺課長） 以上をもちまして、令和5年度第1回美里町障害者計画等策定委員会を閉会とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

委員 _____

委員 _____